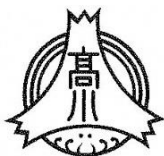


| | | | |
|-----|---------------------|-----|---|
| 学校名 | 棚倉町立高野小学校 | 校長 | 戸倉 深希子 |
| 住所 | 東白川郡棚倉町大字山際字仙石103番地 | | |
| TEL | 0247-35-2005 | URL | https://tanagura.fcs.ed.jp/高野小学校 |

地域と共に“創る”学校～高野の未来を考える子どもたち～

取組の概要



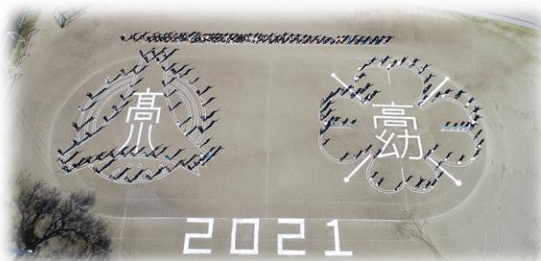
高野小学校は全校生53名、地域の方々や保護者の皆さんがいつも温かく応援して下さる「地域と共にある学校」です。急激な児童数減少に備え、学校運営協議会を中心に「高野小学校の活性化」に取り組んでいます。そこで、6年生を中心として「今」と「未来」の高野を考えるプロジェクトがスタートし、学校運営協議会の中で児童が意見を発表するなど、児童、保護者、教職員、地域の方々と一丸となって、地域と共に「創る」学校へと歩み出しました。

今

TAKANO2021 歴史に残る航空写真プロジェクト

「僕たちもやりたい！」と古い航空写真を見て新学期につづやいた6年生。取り組んでいくうちに

「高野の『今』を残したい！」「今年度で閉園する幼稚園の最後の思い出にしたい！」と地域への思いを強くしました。そこで地域の方々にも参加していただくこと、子どもたちは一人一台のタブレットを駆使し、自らお便りを作成し、Google formで保護者の皆さんや地域の方々へ参加を呼びかけました。業者へのドローン撮影依頼も6年生が行いました。算数で習った縮尺を応用して図案の寸法を出すなど、これまでの学びをフル活用しました。当日の撮影には総勢150名ほどの参加があり、大成功に終わりました。棚倉町では町をあげてキャリア教育に取り組んでいますが、子どもたちは活動を振り返り、「考えてやり遂げる力、自分の意見を発表する力」などといったキャリアの力がついたと話しています。



高野の今を残したい！



6年生が幼稚園児に説明



タブレットで思考の可視化

未来

高野フューチャーラボ

「これからの高野を考える」・・・6年生が総合的な学習の時間に取り組んでいるテーマです。同じ校舎内にある自分たちが卒業した幼稚園がなくなるというピンチをチャンスに変え、幼稚園の空き

教室の利用法について町の「青少年の主張」の発表会で提案を行いました。「中学生になったらここでテスト勉強」「地域のお年寄りの方がここで会合」「あるときはママカフェ。遊具もあって、小さな子どもたちを見てくださいる方もいて、日頃忙しいママたちがゆっくりできる」などの利用法を考えました。そこには・・・「10年後、20年後の高野が、優しく温かい人があふれる今の高野のよさはそのままに、今よりも活気がある地域になってほしい。そのために、地域とつながっていく場所やみんなで地域をよくしていく仕組みを作り、地域とこれからももっと関わっていききたい」という思いがあり、子どもたちの発案で「高野フューチャーラボ」を立ち上げます。卒業までに“Pay forward Cafe”を試してみたいと探究心旺盛な子どもたちが計画！この活動がこれからどんな広がりを見せるのかが楽しみです。

作成

西暦2022年1月